

数値からみる生涯学習基本計画の現状と課題

基本目標

1. まなび人を増やそう

目標達成のための課題

- (1) 学びへの関心を高める
- (2) 学びを見つける
- (3) 学びの場をつくる

指標	実績値(%)					目標値(%)
1 年以内に生涯学習を行った市民の割合	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	58	63	62.3	69.1	—	70

自己評価・分析

「生涯学習に関するアンケート調査」において、令和5年度には **69.1%**まで増加し、多くの人が生涯学習を行っていることを認識している状態である。コロナ禍を経て、生涯学習の在り方も多様化しており、オンラインなどで学習をする機会が多くなっているのもポイント増加の要因であると考えられます。

しかしながら、「市からの学習機会の情報提供など、学習しやすい環境の整備がされているか」という項目では、「思う・どちらかといえば思う」の合計が **52.3%**となっており、さらに市民と学習に関する情報提供や、環境の整備に力を入れていく必要があると考えます。

基本目標

2. まなび力を育てよう

目標達成のための課題

- (1) 学びでつながる
- (2) 学びを生かす
- (3) 学びの力を高める

指標	実績値(%)					目標値(%)
学びの活動で身についた知識や技能を生かしたいと思う市民の割合(仕事・地域)	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	38.7	34.8	34.4	35.5	—	40

自己評価・分析

同アンケートにて、平成 30 年～令和2年までは 38%～41%と比較的高いポイントであったが、令和3年からは 34～36%のなかで推移しています。これはコロナ禍において、地域活動が制限されたことによるポイントの減少が考えられますが、地域活動が回復してきたことにより、緩やかに上昇傾向にあります。自身の学んだ成果を活かす場が地域や生活の中にあることが大変重要であり、そのためには、学びの場をつくり、対話を通じたコーディネートができる社会教育士などの社会教育人材が必要であると考えます。

基本目標

3. まなび里をつくろう

目標達成のための課題

- (1) 学びで地域の魅力を見つける
- (2) 学びのまちをつくる
- (3) 学びからまちを活性化する

指標	実績値(%)					目標値(%)
学びやすい環境が整備され、自分の周りが学びにあふれていると感じる市民の割合	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	41.5	42.8	44	52.3	—	増加

自己評価・分析

同アンケートで、「学びやすい環境が整備され、自分の周りが学びにあふれていると感じる市民の割合」を調査したところ、令和3年度以降は増加傾向にあります。これは、地域と学校が連携・協働し、活動を行う「地域学校協働活動」などの動きも出てきており、少しずつ活動が広がりを見せていっているものと思います。

また、市民にとって一番身近な学びの場である自治公民館活動や、地域の拠点施設である自治協議会が行う学習活動についても支援を続け、誰もが気軽に地域でまなべるまなび里をつくりたい。

※令和4年度からシンボル指標の表現が変更されています。

【令和3年度まで】

「学習しやすい環境が整備され、あなたの周りに学びがあふれていると思いますか？」

【令和4年度以降】

「あなたは、丹波市は学習の機会や情報が得られるなど、学習しやすい環境が整備されていると思いますか？」